

種彦諸國物語

歌川國貞畫



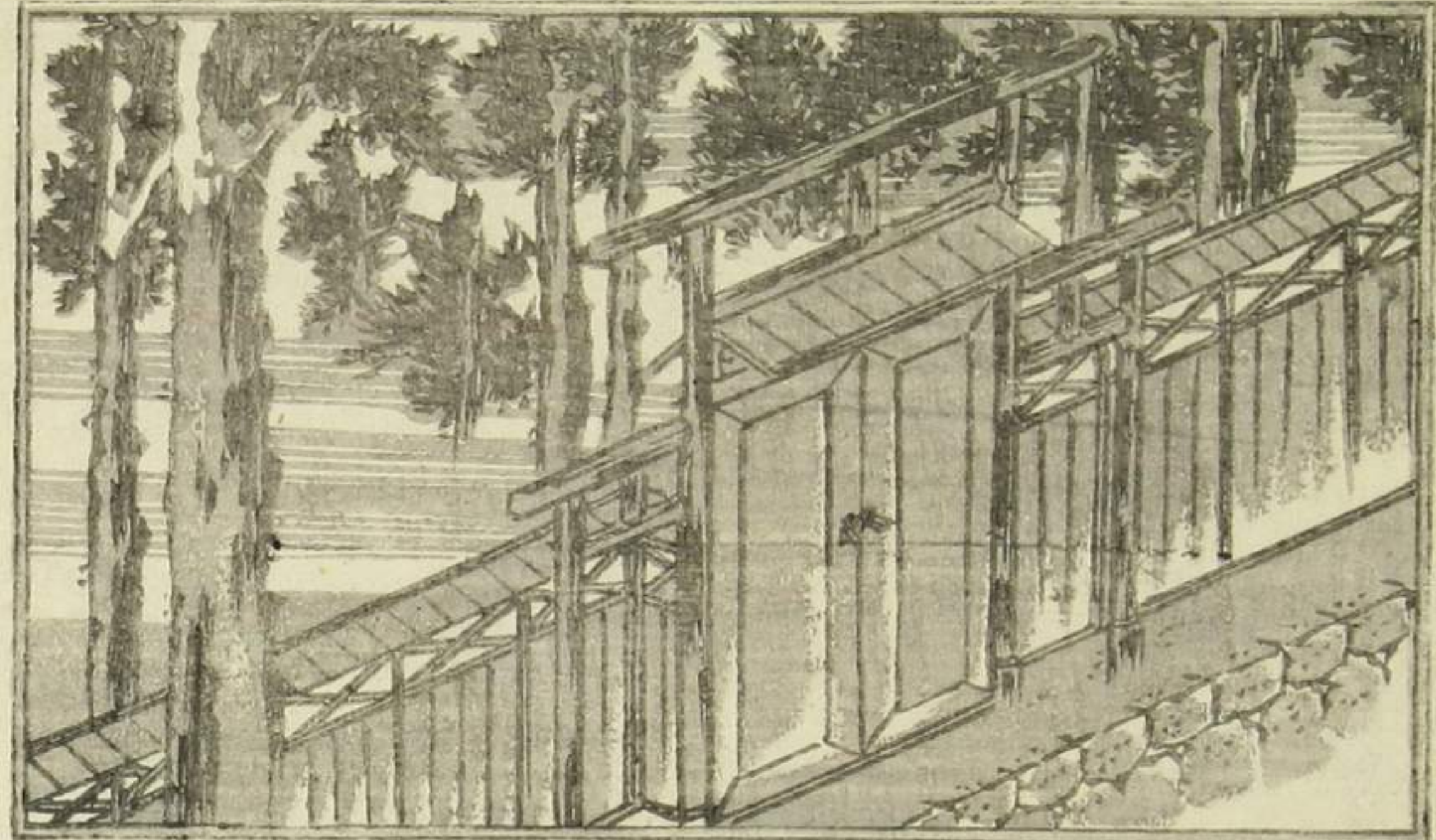
榮文

13
3223
24



へ13特
3223
24

天保八年丁酉發春



えん 耶 鄭 諸 國
の 語 大和の卷
後帙上

柳亭種彦作
歌川國貞画

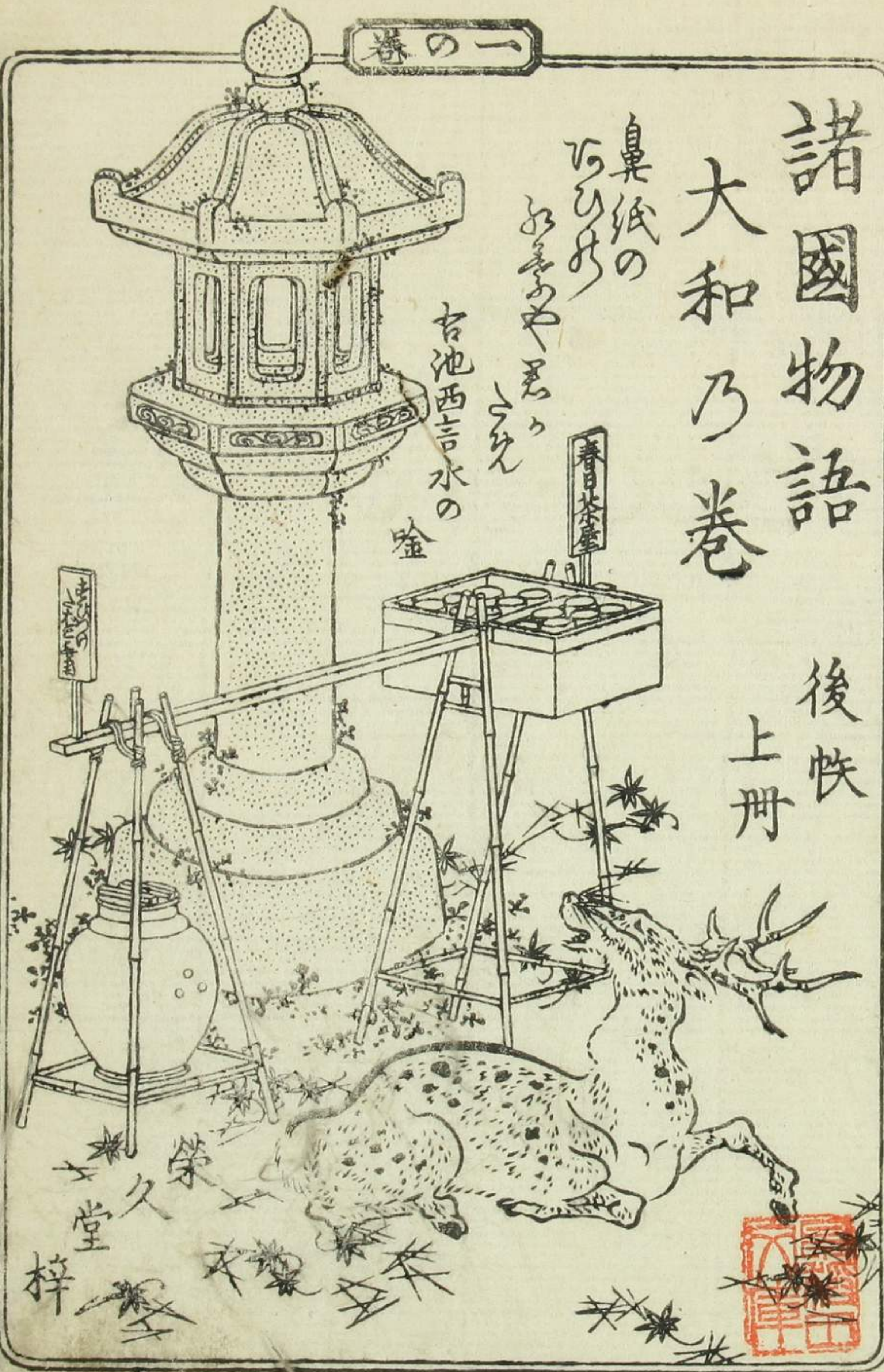
東都親仁橋
榮久堂製本

卷の一

諸國物語

大和乃卷

後帙
上冊

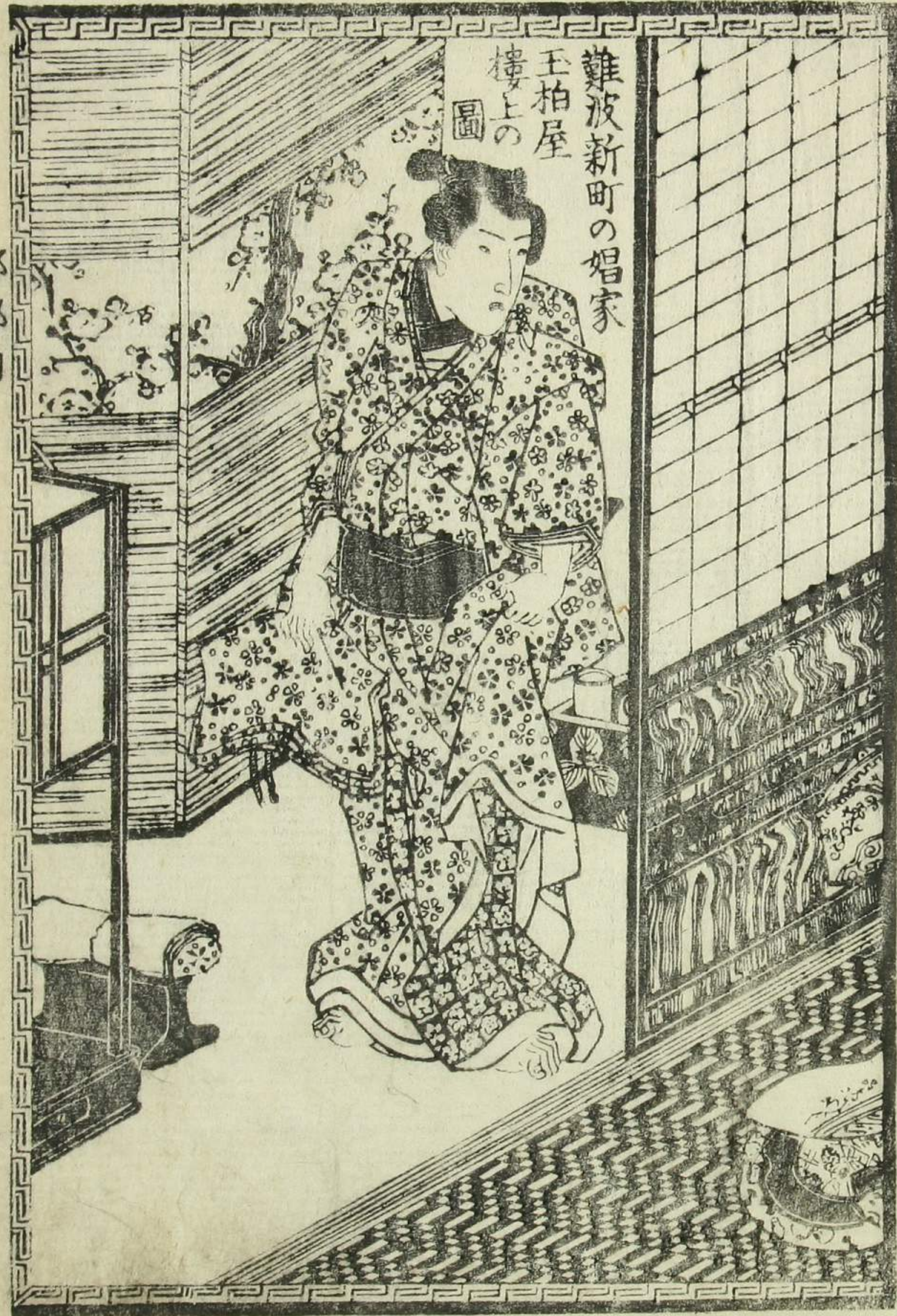


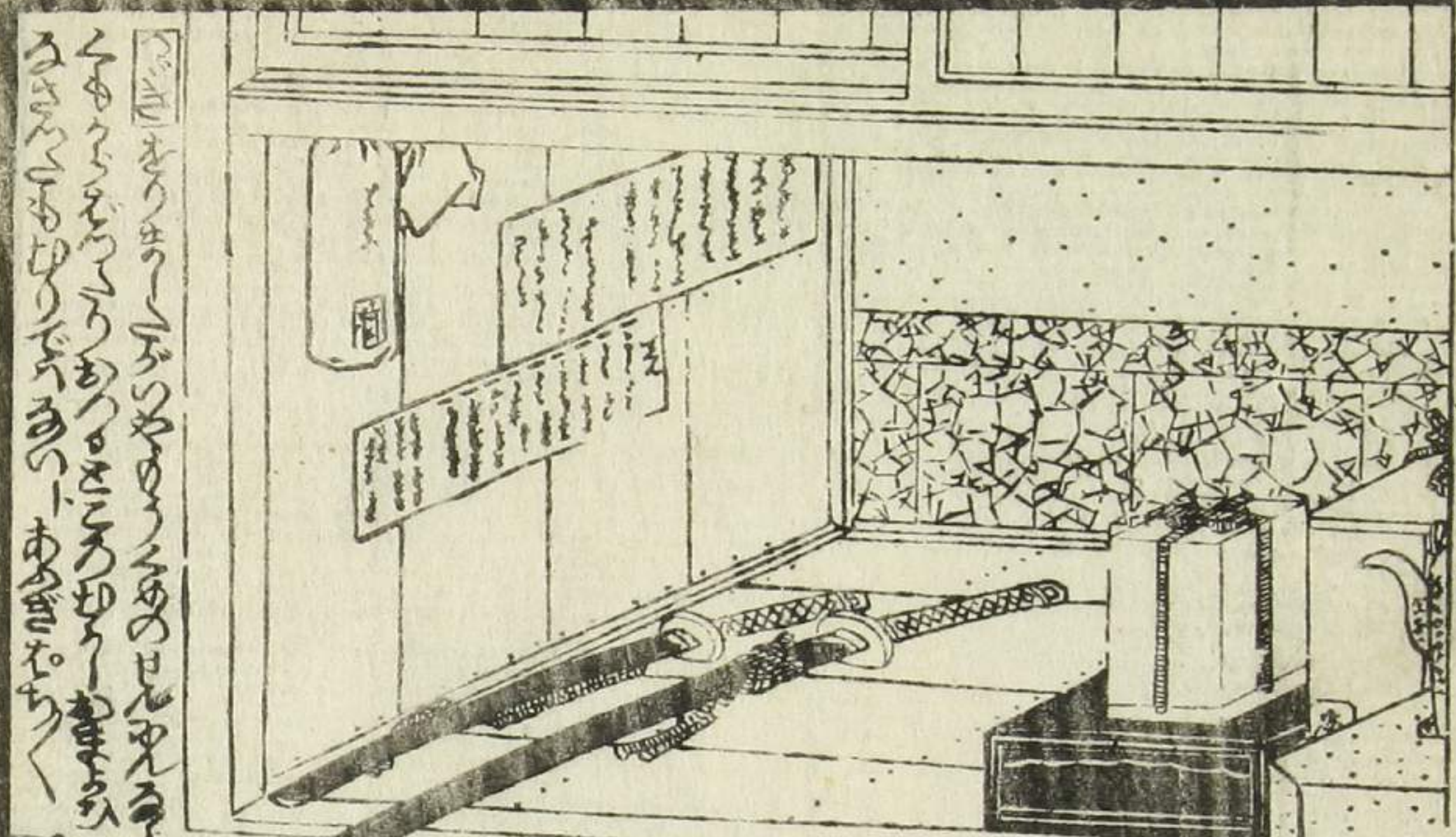
耶鄭四

堂

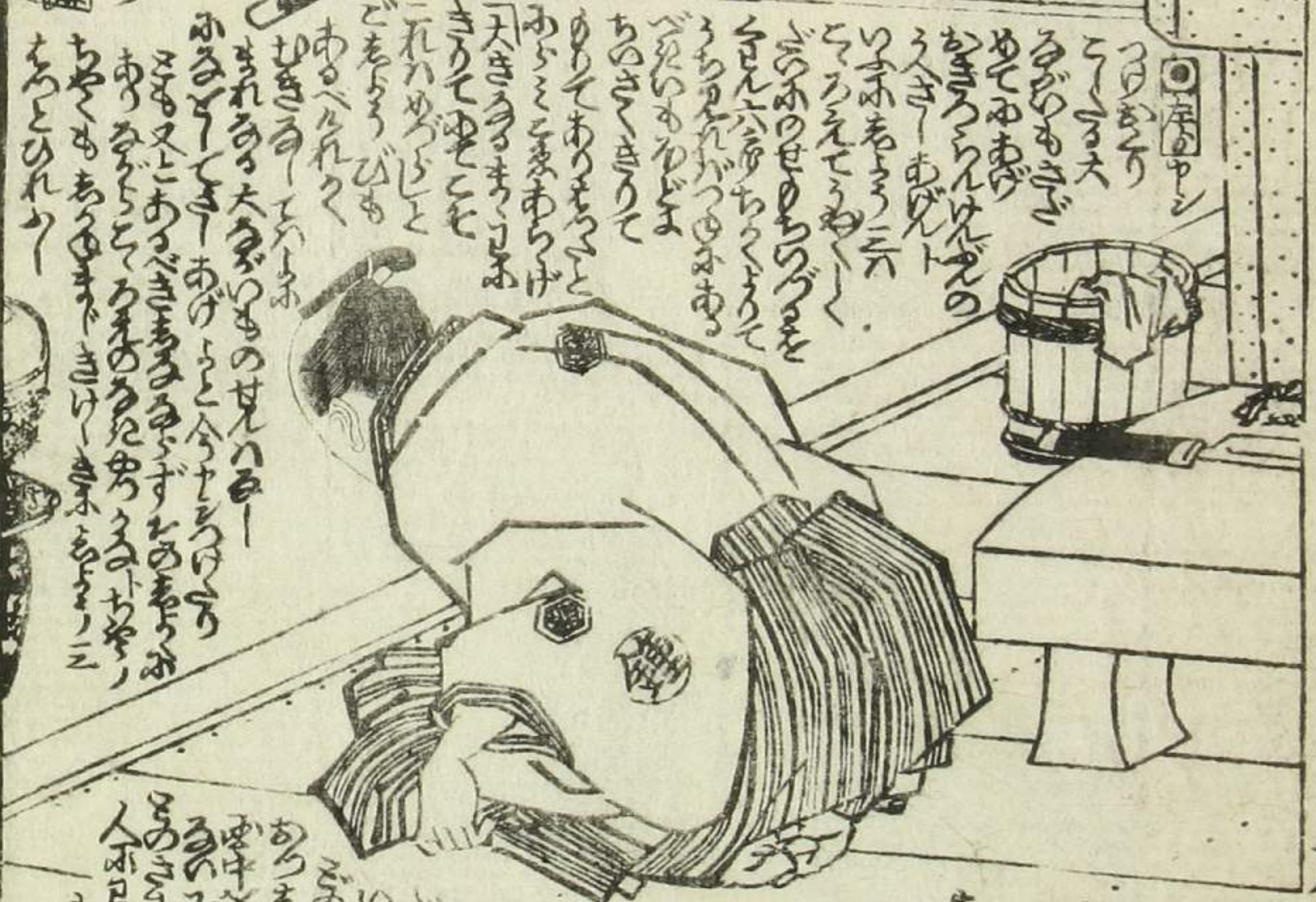
榮久堂
梓







おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま



おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま

おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま



おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま

おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま
おんをりちりてかきぬけしるのせしめはま



五十八日 先生の御座りしに...

先生の御座りしに... 先生の御座りしに...



先生の御座りしに... 先生の御座りしに...

先生の御座りしに... 先生の御座りしに...

右の如くは... 左の如くは... 大車と云ふは...



右の如くは... 左の如くは... 大車と云ふは...

右の如くは... 左の如くは... 大車と云ふは...



右の如くは... 左の如くは... 大車と云ふは...



甘單四

國貞画種彦作

ついでにあらゆるかを
 かつてやりのまじりまじり
 ありあけのふれでいやく
 ころふちふちうち一人か
 ろふちうちうちうちうち
 ままめめめめめめめめ
 あるいはやのふれめめめめ
 むんふふふふふふふふふ
 こころうらやうらうらうら
 三人ともおのれはままこひね
 中をよきまらあつこうく
 ちまをよきまらあつこうく
 ままをよきまらあつこうく
 ままをよきまらあつこうく



美足仙女香
 清正の曲
 美足香
 美足香
 美足香
 美足香
 美足香
 美足香

天保辛丑
 壬春發行
 邯鄲諸國物語播磨の巻
 柳川種彦作
 歌川國貞画
 前編中編後編十二冊

あは播磨の巻はなほ
 子つこの諸國物語と異なり一箇國を二説話のそま
 たれあも先々書出すよりなるゆへに讀むにこれのみ
 語とおぬゆへについでに二箇國の權三ヶ條を助と
 ろく大和の巻はなほ
 あり大和の巻はなほ
 あり大和の巻はなほ
 あり大和の巻はなほ
 あり大和の巻はなほ
 あり大和の巻はなほ
 あり大和の巻はなほ
 あり大和の巻はなほ

近江の巻

前帙 八冊
 後帙 二合本

大和の巻

前帙 十二冊
 後帙 三合本

附出巻の巻

あつとの巻のうらふこもなり

以上先年出版

不絶製本たぐとむ早川の 板元芳町巻角橋角 山本屋平吉

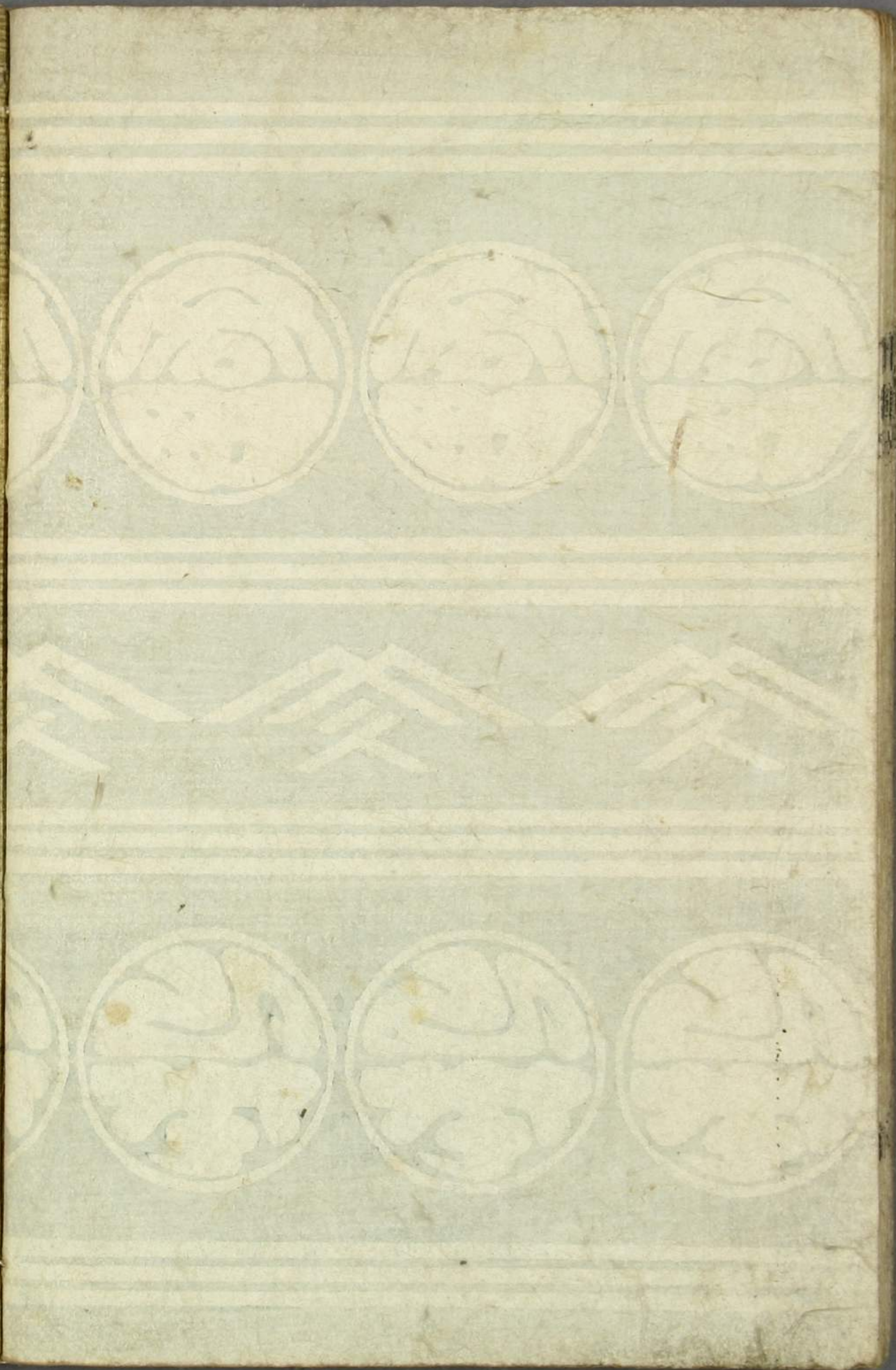
種彦法國如法

大和の
巻後帳下

天保
一丁酉春
發販



香蝶橋魚



この女は... 子をつけて... 公の御前へ...

男子... けいご... 子をつけて... 公の御前へ...



この女は... 子をつけて... 公の御前へ...

男子... けいご... 子をつけて... 公の御前へ...



この女は... 子をつけて... 公の御前へ...

男子... けいご... 子をつけて... 公の御前へ...



郵四



廿四





此の如く

此の如く
これに
これに



甘單四

十九

歌川國貞画柳亭種彦作



増補忠臣藏 全六冊

晋米齋玉粒編
一陽齋前豊國画

繪本千年山

全拾冊
北尾重政画

繪本武者鑑 全四冊

十返舎一九作
香蝶樓國貞画

花軍春錦繪

前篇六冊
後篇四冊
香蝶樓國貞画

昔昔在土佐

全四冊
宝田千町選
歌川國芳画

灸地本錦繪問屋

江戸一町親仁橋角
山本平吉販

